

プロネクサスベトナム現地レポート

(2021年11月 VOL.28)

プロネクサスベトナムが、2021年10月のベトナム現地情報をお伝えいたします。
 今回のテーマは、ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）の動向についてです。

2021年ワクチンが普及してきたものの全世界で新型コロナウイルスの影響は未だに大きく、前年同時期と比べると減少傾向が続いております。

【FDI 動向の概要（2021年1月1日～10月20日）】*10月の数値は20日時点の値

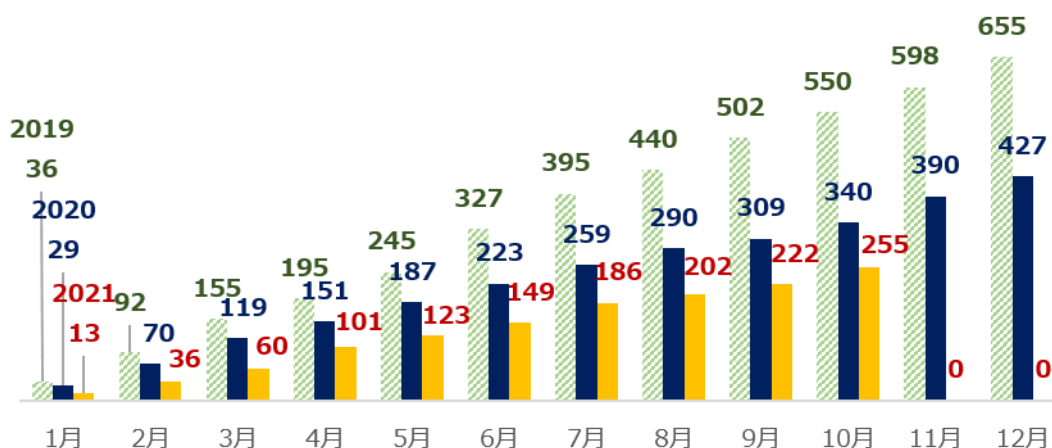
【1】日本の対越投資動向

- 日本の2021年1月1日から10月20日までのFDI投資額は約33億8,479万USドル（*2020年同期間：約17億8,255万USドル、189.9%）
- 日本の2021年1月1日から10月20日までのFDI投資件数は、425件（*2020年同期間：813件、52.3%）
- 証券投資件数を除いた日本の2021年1月1日から10月20日までのFDI投資件数は、255件（*2020年同期間：340件、75%）

*下グラフ参照

*証券投資を除くFDI投資件数の統計データは、会社設立や増資等の日系企業の直接的な進出動向の判断指標の一つとなる数値です。

【比較】新規投資件数の推移：2019年から2021年の累計件数の推移



*データ引用元：ベトナム外国投資庁

【2】世界の対越投資動向

2021年10月の値ですが、海外からのベトナムへの直接投資は、97の国と地域から投資が行われており、投資金額・投資件数の上位5か国は以下のとおりです。

■投資金額の上位5か国（金額：USドル）

1位	シンガポール	約68億
2位	韓国	約42億
3位	日本	約34億
4位	中国	約25億
5位	香港	約20億

■当件数の上位5か国（件数）

1位	韓国	1,574
2位	中国	618
3位	シンガポール	499
4位	日本	425
5位	台湾	263

*データ引用元：ベトナム外国投資庁

*「新規投資の金額・件数」「追加投資の金額・件数」「証券投資の金額と件数」の合計で順位を算出（2021年1月1日～10月20日）

<主な大型プロジェクト>

- ▶ 火力発電所建設プロジェクトで約13億USドル（日本）2021/1
- ▶ 発電所建設プロジェクトで約31億USドル（シンガポール）2021/3
- ▶ Far Eastern Polytex 工場に約6億USドル追加投資（台湾）2021/5
- ▶ クラフト紙の工場プロジェクトで約6億USドル（日本）2021/7
- ▶ LG電子ハイフォン工場に約14億USドル追加投資（韓国）2021/8
- ▶ 上記の大型プロジェクトなどがFDI投資金額全体を下支えしており、全世界からのベトナムへの投資金額は、対前年同時期と比較し61.1%程度で推移

*引用元：ベトナム外国投資庁

<10月の投資状況>

2021年10月までの外国からベトナムへのFDI投資をみると、コロナウイルスの影響で金額、件数ともに伸び悩んでいる状況にあります（対前年比 約61.1%程度）。

外国からベトナムへの新規プロジェクトへの投資は1,375件（対前年比65.5%程度）、金額は130億USドル（対前年比111.5%）。同様に外国からベトナムへの既存プロジェクトに係る増資に関しては、776件行われ（対前年比85.6%程度）、金額は70億9,000万USドル（対前年比124.1%）に達しました。

<ベトナムの都市鉄道プロジェクトについて>

ベトナムでは現在 20 近くの都市鉄道プロジェクトが計画されています。急速な経済発展に伴い、ホーチミンやハノイなどの道路混雑が問題とされており、ベトナム政府は都市鉄道プロジェクトを立ち上げました。しかし、政府の資金未払いにより、どのプロジェクトも数年間の先延ばしとなっています。

当初のホーチミン市の計画では 2018 年までに完成予定でしたが、日本が 43.7 兆ドン（19 億 2000 万ドル）の資金提供をした 1 号線の完成は 2023 年の後半から 2024 年と予想されています。建設を行っているのは住友商事、三井住友銀行、清水、前田ですが、多くの費用は日本政府が負担しています。しかし建設が始まると当初予定していた金額より 3 倍のコストが掛かり、ベトナム政府の未払いが膨らみました。2018 年の未払い請求額は 1 億ドルを超え、更に建設が遅れることとなりました。1 号線の建設自体は 90%完了しており、車両の納入も日立が 2020 年に完了しておりますが、一般公開までの道のりは長そうです。

ハノイの 2 路線の 1 つは中国が資金提供をしており、2015 年の完成予定が 2023 年以降に先延ばしとなっています。こちらも同様に未払い金での問題に直面しています。中国からの資金提供は現在約 9 億ドルに上っていますが、プロジェクト自体は 10 回も延長されています。

遅れの理由として政府の支払い権限が「与党共産党」、「中央政府」、「市政府」で明確されていないため政府が関わるプロジェクトには時間がかかるようです。

ベトナム都市の混雑悪化を緩和するためにも都市鉄道プロジェクトの開発が進むことを願うばかりです。

*引用元:

NIKKEI ASIA. "Vietnam urban rail projects fall years late as payments lag".
<https://asia.nikkei.com/Business/Transportation/Vietnam-urban-rail-projects-fall-years-late-as-payments-lag>, (参照 2021/11/02)

以上、プロネクサスベトナムが海外からの投資動向について、お知らせ致しました。

次回は、【ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）11 月の動向について】をお伝え致します。

【Disclaimer】

- 本資料は、情報提供を目的として作成しております。
- 本資料に記載の情報は、会計・税務・法律上の観点からのアドバイスを含むものではありません。
- インターネット上を含む、一切の無断転載を禁止しております。
- 本資料の情報は、株式会社プロネクサスが作成元より提供を受けており、著作権は、原則として作成元に帰属します。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を無断で使用すること、または、いかなる方法で複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与などを行うことを禁止しております。
- 本資料に記載された情報は、作成元が信頼できると判断したものを根拠として作成を行っておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊社および作成元は、当該情報に起因して発生した損害について、その内容の如何に関わらず、一切の責任を負いません。